

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	開設からおおよそ、3年経過して、当初から入居している利用者、途中入居の利用者と心身状態に差がついている。有する能力の現状を個別に把握し、対応する必要がある。	個別の身体レベルを把握し、1日の生活の流れに個別化を意識した時間を作る。	起床から就寝まで、一人一人の生活の流れを把握し、食事体制、入浴時間、機能訓練など、個別化に向けた支援をする。	12ヶ月
2	34	年2回の非難訓練を実施しているが、非難する時の持ち物、車イスを使った具体的な誘導を行えていない。	非難時の防災グッズとして、入居者の個人情報(医療的内容も含めて)をいつでも持ち出せるよう工夫する。 車イスを使った、非難誘導練習を行う。	殆どの入居者は医療と切り離せない。薬、かかりつけ医、個人情報など必要な情報をいつでも持ち出せるよう、リュックに準備する。 実際の車イスを非常口からスロープを使って非難誘導する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。